

個人・グループ名	高田佳吾	大学名	北海道教育大学旭川校
作品名	洗濯機直置き型ランドリーラック	人数	1名

**製作の動機・目的**

私の暮らしているアパートの脱衣所は狭いため、収納スペースや日用品を置く場所が極端に少ない。洗濯機の上の空間を利用できないかと考えたが、洗濯機もギリギリの配置をしているため、洗濯機を覆うように台を設置することは難しかった。そこで、いっそのこと洗濯機の上に直接置いてしまえばよいのではないかと考え今回の製作に至った。

**製作時の工夫点と製作順序**

設計の段階から実際の製作で変わった点が複数ある。もともと天板はすのこでなく一枚の板にする予定だった。洗面道具も置くことを考えると小物が落ちないようにしなくてはいけなかったためである。しかし、材料を買う際に求めていた大きさに合うものが無く、極端に大きな板を切る必要があった。そのため、すのこ状の天板となってしまったが、限界まで空間を詰めたこともあり使っていて不便だと感じることはない。(図2)

洗濯機の使用時に振動で乗せているものや、台自体が落ちないようにする必要もあった。そこで四本の支柱と天板をつなぐ部分に振動を吸収するパーツをつけ、また4本の脚にはそれぞれに洗濯機の角に合わせ台をはめ込むようにする部品が取り付けられている。(図3、図4)

製作の順序はまず天板と4つの脚を作りそれらを防振ゴムでつなげる。防振ゴムは脚と天板に鬼目ナットを取り付けはめ込んだ。最後に乗せたものが落ちないようにするための柵をネジで固定する。各材料は、天板はパネルソーを、脚や柵などの棒状のものは卓上丸鋸を用いて切断した。



図1 完成図



図3 天板と脚をつなぐ防振ゴム



図4 洗濯機と脚の接触部分

**まとめ**

現在も使用し続けているが、ネジが緩んだり振動で物が落ちたりすると言ったことはまだ起きていない。脱衣所の収納も以前に比べてとても便利になった。今回作るに至った目的は達成されたが、洗濯機の揺れを抑える工夫が活きているのかは疑問である。台自体に結構な重量があるため、それが耐震に対して一役買っているような気がする。もしもう一度作る機会があったり、さらに大きな揺れに対しての耐震を考えたりする機会があるなら、設計の段階で完成品の重量を想定し、耐震具をどこに取り付けるのが効果的かを考える必要があるように思う。

そういった発見を含めて今回はいい機会になったので、身の回りにある課題を見つける姿勢はこれからも大切にしたい。

- 洗濯機稼働時の動画 URL

<https://drive.google.com/drive/folders/1HRq5G53rvBAm91vQ114hN3wI5TDHoHiz?usp=sharing>